

02【概要】石岡市公民館／地区公民館個別施設計画

■基本的な考え方

- ・石岡地区4館、八郷地区8館を基本とする。
公民館は石岡市教育大綱に示された基本目標「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」の実現に向け、「生涯学習の推進」を図るための地域拠点として位置付けるものであり、「新たに造る」から「賢く使う」に重点を置き進めていく。
- ・学習拠点と共に交流の場として確立する。
地域の実情やニーズに応じた多様な学習機会の提供を行い、更には、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティ醸成のためのサービスを総合的に提供する拠点として確立するための取り組みを行っていく。
- ・老朽化対策として大規模改修を行い、多機能型施設の構築を目指す。
既存施設や小中学校の跡地利用も含め、学習、地域活動機能の充実を図ることを重視した体制の構築を目指す。

1. 対象施設

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		備考
					図書室	出張所	
1 中央公民館(柿岡地区公民館)	柿岡5680番地1	3,409.33	昭和57	RC造	●		陶芸室・倉庫 別棟含む
2 府中地区公民館	府中五丁目5番17号	1,214.00	昭和54	RC造			
3 東地区公民館	東石岡四丁目6番24号	1,236.47	昭和57	RC造	●		
4 城南地区公民館	三村7109番地	1,490.67	昭和61	RC造	●		
5 国府地区公民館	国府五丁目7番1号	1,465.00	昭和61	RC造			
6 中央公民館東大橋分館	東大橋1623番地2	66.00	昭和52	W造			
7 中央公民館高浜分館	高浜794番地1	165.00	平成4	S造			
8 恋瀬地区公民館	小見827番地1	459.32	昭和57	S造		●	
9 林地区公民館	下林862番地1	440.82	昭和56	S造			
10 小桜地区公民館	川又746番地	471.46	昭和57	S造			
11 小幡地区公民館	須釜1300番地1	367.00	平成29	W造			
12 葦穂地区公民館	上曾1195番地1	470.52	昭和56	S造			
13 瓦会地区公民館	瓦谷430番地1	432.40	昭和56	S造			
14 園部地区公民館	真家1921番地	477.63	昭和57	S造		●	
合計		12,165.62					

2. 計画期間

令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

優先順位①利用者の安全確保のため、耐震基準を満たしていない施設の改修を行う。
優先順位②経過年数・耐用年数を基に順位付けを行い長寿命化やバリアフリー化を行う。
優先順位③小中学校再編計画の実施に合わせて継続検討を行う。

4. 個別施設の状態等

安全性：現在稼働している14施設のうち、11施設については耐震安全性は確保されています。
ただし、3施設(葦穂、瓦会、東大橋分館)の耐震安全性は確保されていません。

5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。

(単位：千円)

	H30 (2018)	R 1 (2019)	R 2 (2020)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R8 (2026)	R 9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
葦穂地区 公民館	耐震設計 4,482	耐震工事 19,426										長寿命化 117,630
瓦会地区 公民館		耐震設計 4,927	耐震工事 108,000									
林地区 公民館			健全性調査									
			実施設計	長寿命化 110,205								
東地区 公民館				健全性調査								
				実施設計	長寿命化 322,078							
中央公民館 (柿岡地区 公民館)					健全性調査							
					実施設計	長寿命化 891,878						
園部地区 公民館						健全性調査						
						実施設計	長寿命化 124,658					
恋瀬地区 公民館							健全性調査					
							実施設計	長寿命化 120,683				
小桜地区 公民館								健全性調査				
								実施設計	長寿命化 117,865			
城南地区 公民館									健全性調査			
									実施設計	長寿命化 396,250		
国府地区 公民館										健全性調査		
										実施設計	長寿命化 366,250	

6. 対策費用

2019年、2020年の葦穂及び瓦会公民館の耐震改修については見積額。
更新単価（行政系施設＝250千円）にて長寿命化改修工事について計算。
合計額 ＝ 2,704,332 (千円)

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（大規模改修費用の単価）及び計算式（下記参照）を使用した10年間の更新費用。ただし、健全化調査や設計費用等は含まない。

7. 今後の対応方針

- ・ 今後10年間で石岡地区4館、八郷地区8館の耐震改修、長寿命化改修、バリアフリー化を行い、これまでの会議室等の使用条件にとどめず、間取りを見直すことにより柔軟な利用形態がとれる施設・設備を充実させ、多機能型公民館としての活用を目指す。
- ・ 高浜分館、東大橋分館については民間譲渡等を含め利活用を検討する。
- ・ 東地区公民館については、同一地区に立地されている旭台会館及び児童センター等との複合化を検討しながら、老朽化対策や立地等を含め運営について見直しを行う。